

ふれあい

2025



No.456

牛久愛和総合病院 広報誌



尿タンパクと血清クレアチニンに注目して下さい（慢性腎臓病について）

副院長 石津 隆



慢性腎臓病（CKD）とは慢性に経過する腎臓病の総称です。CKDの患者さんは全国に約1330万人いると推計され、非常に頻度の高い病態です。

CKDにかかると将来、透析や腎移植が必要なるような高度の腎機能障害に至る危険性が高くなります。また、心筋梗塞や脳血管疾患などの心血管病（CV）合併の頻度が高く、透析に至らないとしても、健康にとっての大きな脅威となることが知られています。つまりCKDを予防・治療することが、心筋梗塞や脳血管障害の頻度を減らすことにつながります。

CKDの初期には症状が出現することはほとんどありません。採血や尿検査を行う事により診断されます。

特に尿タンパクの有無と血清クレアチニンの値が重要です。

尿検査は健康診断の項目にも入っており、簡便で手軽に受けすることができます。

正常な状態では、尿中にはタンパクがほとんど検出されないため、尿タンパクが陽性であれば正常ではありません。安静な状態でも尿タンパクが陽性であればCKDであると考えられます。

CKDになると将來、透析や腎移植が必要なるような高度の腎機能障害に至る危険性が高くなります。また、心筋梗塞や脳血管疾患などの心血管病（CV）合併の頻度が高く、透析に至らないとしても、健康にとっての大きな脅威となることが知られています。つまりCKDを予防・治療することが、心筋梗塞や脳血管障害の頻度を減らすことにつながります。

CKDの初期には症状が出現することはほとんどありません。採血や尿検査を行う事により診断されます。

特に尿タンパクの有無と血清クレアチニンの値が重要です。

CKDと診断されたら、原因

をまずは調べます。そして、食事・運動・薬物療法などの治療を行います。

腎臓の疾患は治らないとの印象を持たれている方も多いと思います。

確かに、思わしくない経過となってしまう患者さんもいらっしゃいますが、近年は治療法が進歩しており、腎機能の低下するスピードを抑えられることが少なくありません。治療法の進歩により、日本で透析を受けている患者さんの総数も減少に転じ始めました。

CKDは早期に治療開始をした方が予後の良いことが多い疾患です。したがって、無症状のうちに診断や治療を受けることが重要です。検診などで尿タンパクや血清クレアチニンの検査を受けたとき、異常値が疑われる場合には医療機関へ早めにご相談下さい。

CKDは早期に治療開始をした方が予後の良いことが多い疾患です。したがって、無症状のうちに診断や治療を受けることが重要です。検診などで尿タンパクや血清クレアチニンの検査を受けたとき、異常値が疑われる場合には医療機関へ早めにご相談下さい。



U 最新鋭アンギオ装置の導入

当院は令和7年1月より、最新鋭のアンギオ装置を導入致しました。

この装置を使用するアンギオ検査（血管

造影検査）とは、腕や足の血管からカテーテルと呼ばれる細い管を脳や、心臓などの目的部位まで挿入し、カテーテルから造影剤（血管を描出する薬剤）を注入しながらX線撮影を行うことで、血管を描出する検査です。これにより血管の異常（狭窄、梗塞、出血、動脈瘤など）や腫瘍の状態を観察・診断することができます。

またこれら診断に加え治療の必要があればIVR（血管内治療）も行うことができます。IVRとはカテーテルを操作し、狭窄した血管を広げる、出血部位を止血する、動脈瘤を塞栓するといった治療を血管内より行います。

IVRの適用疾患は多岐にわたり、アンギオ装置の使用頻度が高くなっていますので、救急患者様への対応を円滑に行うため令和7年4月より2台目のアンギオ装置の稼働を予定しております。

導入致しました装置は、最新の人工知能技術を搭載しており、質の高い画像を低被

画像診断センター 副科長 飯島 翔太

入職者

■訪問看護
春秋園

看護師 高橋 啓子

ばかりで取得可能となりました。また術者の操作性も向上し、より円滑な検査が可能となります。

様々な患者様に対しより良い医療を提供できるよう努めて参ります。

アンギオ検査に関して不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

2月1日付 初期研修医 山城 泰介
 ②筑波大学初期研修医の山城泰介と申します。昨年度に半年間勤務させて頂きましたが、今回は救急科で二ヶ月お世話になります。よろしくお願ひいたします。

2月16日付 ■人事課 事務 橋内 大
 ③筑波大学 ④ロードバイク
 ⑤1992年5月24日 32才
 ⑥A型 ⑦ふたご座

1日でも早く皆様のお力になれるよう、日々の業務に取り組んでまいります。

訪問看護は未経験ですが、利用者様のお役に立てるよう努めています。

Alphenix™Core+



■医事情報部 事務 宮崎 秀明
 地域の患者様のお役に立てるよう、「凡事徹底」の精神で尽力してまいります。

事務 秋田 まゆみ
 患者様や皆様との関わりを大切にし、日々、成長していくたいと思っています。



春秋園だより

桜前線が待ち遠しいですが、まだまだ寒さ厳しい日が続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は、二階多床室フロアのレクリエーションについて紹介します。

レクリエーションは、入所者様と我々スタッフとの関係性を築いたり、外出が難しいなかでも季節に触れたり感じたりする事ができる貴重な機会となるなど、とても大きな役割を担っています。

レクリエーションは大きく分けて、おやつ後に行う毎日のレクと季節の行事があります。毎日のレクでは、日付の確認から始まり、ラジオ体操や口腔体操などを中心に、ゲームやクイズ、季節の飾りづくり、などを30分程度行います。日課として定着しており、身体を動かすことを行っております。

(二階多床室フロア一同)

部署紹介

A5階病棟

看護師長 下村 真理子

救急医療科 松本 大昌

A5階病棟は、血液疾患の患者さんが化学療法や輸血を中心とした治療を行う「無菌室」を2床有しているのが特徴です。治療中は白血球が著しく低下し感染症に罹患しやすくなるため「無菌室」を使用していただきます。無菌室は高性能フィルター(特別な空調設備)を使用し、一般の病室より微生物が少ない空気を循環させている特殊な機能を持つ病室です。感染対策に伴い活動が制限されるため患者さんの精神的・身体的ストレスは計り知れないほど大きなものです。看護の基本である「安心・安全」を常に心がけスタッフ一同取り組んでおります。

スタッフの特徴としては、新卒からママさんナースまで幅広く活躍しています。化学療法や輸血、処置などの業務を行うことが多い病棟ですが、医師をはじめ多職種でコミュニケーションを図り、スタッフみんなで協力しながら業務の調整を行っています。患者さんご家族の気持ちを大切に、これからも「信頼」の得られる看護を提供し続けていきます。



家族・同僚には迷惑をかけると思いますが、幸せ者の一員になるための画策をしている今日この頃です。

本当にその通りだなあと、妙に共感したのを覚えています。無理にでも、時には嘘をついてでも、時間なり・お金を使っちゃうのが趣味というものだと思います。

そういうものを見つけられる人はある意味、幸せ者だと思います。時間がつくるものです。

人を騙してもやるのが「趣味」少々乱暴な言い方ですが、この言葉は、ある有名人の言葉です。「サラリーマン」人が定年を迎えるにあたって、趣味を見つけよう。とか定年後にはこれをやろうとか。そういう本が出ているが、あんな馬鹿な話はない。会社を辞めた後に、釣りを覚えようつたって、覚えられるもんじやない。なるべく早めに、遊んどかない。時間ができたからやる、のは『趣味』じゃない。時間が無い時でも、いかに人を騙してでもやるかつてのが『趣味』。

そういうものを見つけられる人はある意味、幸せ者だと思います。時間がつくるものです。



編集だより

桃の節句も終わり、日ごとに春めいてまいりました。もうすぐ市内のソメイヨシノや、当院の八重桜が咲き始めるので、満開になるのを楽しみにしています。

(E・N)



1月31日（金）節分を行いました。年長児がホールを掃除し、福豆を炒り、鰯を焼いて、いかがしを玄関に飾り、鬼を迎える準備が整いました。11時45分、お母さん達も来て集会が始まりました。お供え物を紹介し、歌を歌つてみると「ドーンドーン」と太鼓の音が聞こえてきました。カーテンを開けると鬼が来ています。子ども達は驚き、お母さんにしがみついて泣いています。2匹の鬼が中に入ります。2匹の鬼が中に入ります。

(保育課係長 柳原)

1/31

節分

△出来事ピックアップ

鼓の共演を見ると少し落ち込みました。その後、鬼との約束事に大きな声で、「はい!!」

と返事をして豆を投げました。

子ども達はがんばって鬼を追い出しました、鬼は山へ帰つて行きました。そして保育園に春がやってきました。

診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科、血管内治療科

【専門外来】

内科 (禁煙外来)
整形外科 (股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
小児科 (小児循環器、小児心理、小児免疫)
皮膚科 (レーザー外来)
外科 (下肢静脈瘤外来)
ストーマ外来
そけいヘルニア専門外来
透析外来
内視鏡検査
検診検査 (乳がん検診)

病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般 391床 医療療養型 55床 地域包括ケア 43床)

施設

敷地 59,449.60m² 駐車場 1151台



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24 時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター	Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス	Tel 029-874-8791
人工透析センター	
読影センター	
地域リハ・ステーション	
介護老人保健施設 春秋園	Tel 029-870-3100
ひたち野ステーションクリニック	Tel 029-896-6200
特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久	Tel 029-817-5111

